

～「仲間が広がる、旅が深まる」プレミアムトレインの誕生～

近鉄特急をクラブツーリズム専用列車に改造し、12月23日から運行開始！

～旅行会社専用列車としては国内初！～

近鉄グループでは、旅客誘致および沿線活性化の一環として、近鉄沿線の豊富な観光資源を活かした旅行商品の造成を積極的に推進しています。今般、観光事業強化策の一環として、近鉄特急12200系（2両1編成×2編成）を、グループ会社であるクラブツーリズム㈱の専用列車に改造し、12月23日（金・祝）から運行を開始します。

特定の旅行会社が年間を通して専用使用する団体列車の運行は、国内初となります。

この団体専用列車は、「旅行がもっと好きになる電車」をコンセプトとしており、内装には、カーペット敷きの床や穏やかな色の照明を採用するなど、クラブツーリズムならではのこだわりを随所にちりばめるほか、様々な催しができるイベントスペースを新設することで、電車旅の楽しいひと時をサポートします。外観は、クラブツーリズムバスツアーの最上級ブランドとして運行中のバス「ロイヤルクルーザー四季の華」のデザインを踏襲した、落ち着きと上質感溢れるグリーンのカラーリングとしています。

またクラブツーリズムでは、この列車を、旅を通しての「仲間づくり」や「学び」をテーマにした専用列車として位置付け、付加価値の高い旅行企画で伊勢志摩・奈良大和路への誘客を一層拡大してまいります。このクラブツーリズム専用列車を、移動教室や交流サロンといった、いわば“カルチャートレイン”としてもご利用いただくことで、今までにない新しい旅の楽しみ方を提案し、より満足度の高い旅をご提供します。

なお、本列車の愛称については10月7日から公募いたします。公募方法等は、クラブツーリズムの旅行情報誌「旅の友」11月号やクラブツーリズムホームページ等でご案内します。

車両概要等詳細は別紙のとおりです。



クラブツーリズム専用列車イメージパース（外観）



クラブツーリズム専用列車イメージパース（車内）

クラブツーリズム専用列車の概要

1. 運行開始時期 平成23年12月23日(金・祝)
2. 運行区間 近鉄大阪線、奈良線、京都線、橿原線、名古屋線、山田線、鳥羽線、志摩線
3. 製造両数 2両1編成×2編成(合計4両)
4. 投資額 約4,000万円
5. 車両概要

(1) 特徴

「旅行がもっと好きになる電車」をコンセプトとし、カーペット敷きの床、穏やかな色の照明を採用しています。

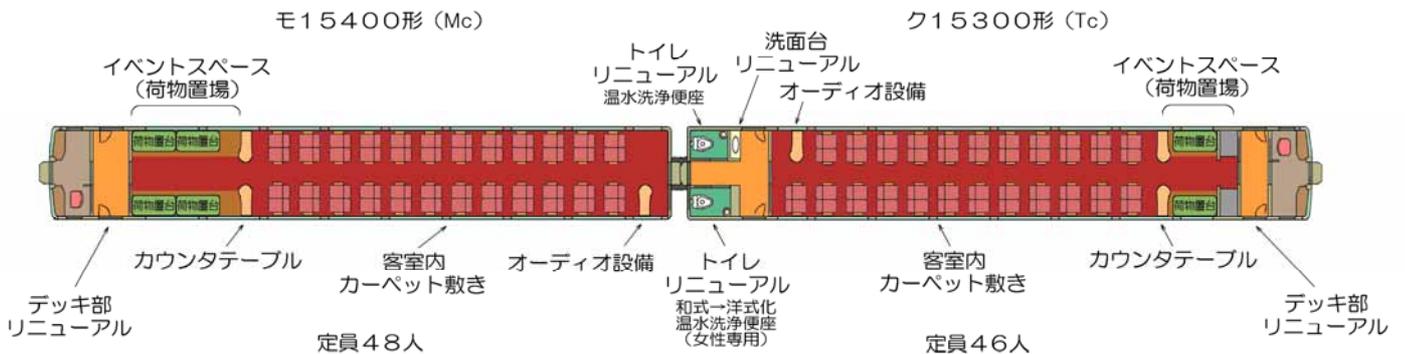
クラブツーリズムのロゴを各所に配置し、旅の気分を盛り上げます。

新設した大きな旅行用カバンも置ける荷物スペースは、イベントスペースとして活用でき、旅の楽しいひと時をサポートします。

車内設備については、トイレに温水洗浄便座を採用するなど、デッキ周りの内装もリニューアルし、快適さを向上させています。また、オーディオ設備やマイク、スピーカーなども新たに設置します。

外観は、クラブツーリズムバスツアーの最上級ブランドとして運行中のバス「ロイヤルクルーザー四季の華」のデザインを踏襲した、落ち着きと上質感溢れるグリーンカラーリングとしています。

(2) 車両概要図





クラブツーリズム専用列車
イメージパス（車内）

6. 本列車を利用する旅行商品例

12月23日出発（大阪上本町発着）

「いよいよデビュー！栄光の一番列車でご案内！～クラブツーリズム専用列車で行くクリスマス志摩スペイン村」（日帰り）

12月24日出発（近鉄名古屋発着）

「クラブツーリズム専用列車で行く“志摩スペイン村で過ごすクリスマス”」（日帰り）

12月26日、27日、28日出発（大阪上本町発着）

「年忘れ！特別企画～吉本お笑いイベント列車」（日帰り）

12月31日、1月1日、2日出発（首都圏発着ツアー・新幹線接続で専用列車は近鉄名古屋発着）

「クラブツーリズム専用列車で行く伊勢神宮「外宮」「内宮」両参り」（1泊2日）

このほか、平成24年1月以降実施予定のもの

同行講師による訪問地に関連した列車内講座（勉強会）に加え、歴史、法話、写真、ウォーキング等をテーマにしたツアー

うたごえ列車、カラオケ列車、ワイン列車、ビール列車など、異業種との連携による列車内交流会を実施するツアー

TV、ラジオ局、雑誌社等とコラボレーションした番組連動、雑誌タイアップによる話題性の高いイベント列車 等

参 考

クラブツーリズム株式会社 概要

- ・ 代表取締役社長 岡本邦夫
- ・ 本社所在地 東京都新宿区西新宿6丁目3番1号 新宿アイランドウイング
- ・ 資本金 25億3,200万円
- ・ 年間売上高 1,395億円（平成23年3月期）
- ・ 従業員数 2,052名（平成23年4月1日現在）
- ・ 拠点 東京、大阪、名古屋、横浜、千葉、埼玉、札幌、仙台、福岡など全国19拠点
年間取扱人員は、国内、海外、テーマ旅行を合わせて合計約408万人（平成22年度実績）で、1日あたり約1万1千名のお客様が当社ツアーにご参加されています。

【クラブツーリズムのご紹介】

1. クラブツーリズムのミッション

“旅を通して「出会い」「感動」「学び」「健康」「やすらぎ」の種をまき、はつらつたる喜びに満ちた社会を花開かせてゆく”・・・これがクラブツーリズムのミッションです。

同時にクラブツーリズムは、21世紀に求められる新しい旅の目的として、こころの豊かさを常に問いかけながら「旅を通しての仲間づくり」に貢献し続けたいと考えています。

2. クラブツーリズムがご提案するもの

- (1) クラブツーリズムでは、「仲間が広がる、旅が深まる」をキーワードに掲げ、同じ趣味や関心をもったお客様どうしが集う「テーマのある旅」を展開し、新たな旅の楽しみを提案しています。ハイキング、写真、スケッチ、温泉、歴史、ダンスなど数多くのテーマ型ツアーを実施しています。
この度デビューする当社専用列車では、車内での講座やミニイベントなどが可能となり、こうしたテーマ型旅行においてお客様どうし、また同行講師や当社スタッフとお客様との距離をさらに縮めていただくことにより、一層充実した旅の空間をご提供できるものと考えています。
- (2) クラブツーリズムでは、お客様と当社との距離の近さを活かすことで、顧客参画型事業を展開しています。例えば、当社自社媒体「旅の友」の配送業務に携わる“エコスタッフ”や一部ツアーでの添乗業務に携わる“フェロフrendリースタッフ”、また各種テーマの講師の一部などは、いずれも当社の会員様であることが大きな特徴でもあります。
- (3) クラブツーリズムは、常に話題性のある新しいツアーのご提供を行っており、実現が近づいている民間宇宙旅行について日本の公式代理店となっているほか、「南極点到達の旅」、「大人の社会科見学ツアー」など、知的好奇心・学び・体験につながるさまざまな旅の企画、実施をしています。
- (4) クラブツーリズムでは、ツアーだけではなく、各種テーマの講座・セミナーの運営のほか、地域コミュニティとしてお客様が集う場としての「クラブツーリズムカフェ」（首都圏4店舗）の展開や、シニア世代向けのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）「趣味人（しゅみーと）倶楽部」の運営を行うなど、さまざまなテーマやコミュニティを通し、趣味や人生を楽しんでいただく場をご提供しています。
- (5) 毎月、自社の旅行情報誌「旅の友」を約300万部発行し、全国の当社の会員様にお届けし、数多くのツアーや講座をご紹介します。
この度の当社専用列車を利用するツアーについても、「旅の友」11月号（最新号）でご紹介します。

以上